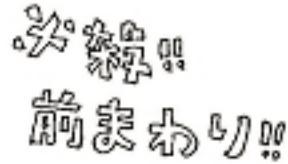


たたかえ！ ヒガシヤマン

round 40



©大畑栄里

ヒガシヤマンの返し技

【必殺！！前まわり！！】

ヒーロー養成所・丹波橋校をいまだに卒業できないヒガシヤマンにとって、歴代同級生と鉢合わせするのは何よりもつらい。ミナミマンとみなみんもそのうちの二人だ。やつらは今日「お友達」と称して敵地に乗り込んでくる。でも、僕は逃げない。僕にだってできことがあるんだ。ヒガシヤマンはこの日、朝から夕方まで近くの公園で営業まわりに対抗して、前まわりをし続けた。



ミナミマン＆みなみん

【必殺技】営業外回り

こんにちは～！東山青少年活動センターのお友達、南青少年活動センターの営業担当2人がヒガシガシに乗り込んで勝手にみなみを宣伝するぞ！おじゃましま～す！

【考案者】南青少年活動センター

「ひらかれ、ひらく居場所作り」をテーマに、様々なプログラムを実施しています。東寺をちょっと南に下ったところにありますよ。ぜひ一度、いや何度もお越しください♪

東山青少年活動センターにひそかに存在するキャラクター・ヒガシヤマン。彼はまわった！「まわってきた。奴らは1回だが、僕は123回だ。勝った。勝ったよ！」哀しきポジティブ・シンキング。がんばれ、ヒガシヤマン！！

文：筒井加寿子

ヒガシ ガシ

VOL.
40 ヒガシ
2014 WINTER



- 01**・たたかえ！ヒガシヤマン
- 02**・もくじ
- 03**・東山schedule
- 05**・【特集】東山再発見
- 08**・ヒガシヤマQ&A
- 09**・ワークショップななめ読み
- 10**・おも検、／季節のイラスト
- 11**・ステージサポートプラン
- 13**・Higashiyama Youth



イラスト
梅山 恵未【大阪芸術大学卒】

空腹を充たすために食べるスナック菓子のように、
東山の情報もかじってほしい。
ヒガシ（干菓子）のイメージからくる季節感や彩りも
添えて。ヒガシガシは、そんな情報誌です。

東山schedule 2014



	1月	2月	3月	
1	水	土	土	②
2	木	日	日	
3	金	月	月	
4	土	火	火	
5	日	水	水	
6	月	木	木	
7	火	金	金	
8	水	土	②	土
9	木	日	日	③
10	金	月	月	
11	土	火	火	
12	日	水	水	
13	月	木	木	
14	火	金	金	
15	水	土	土	②
16	木	日	日	
17	金	月	月	
18	土	①	火	火
19	日	①	水	水
20	月	木	木	
21	火	金	金	⑤
22	水	土	②	土
23	木	日	日	⑤
24	金	月	月	
25	土	火	火	
26	日	水	水	
27	月	木	木	
28	火	金	金	
29	水		土	
30	木		日	
31	金		月	

■は休館日です

① 高劇連 中部支部 冬季合同公演 「第7回冬劇祭」

京都府高等学校演劇連盟に加盟する、京都府立、市立高校演劇部の生徒が主体となって、自分たちで舞台空間を創り、役者や照明・音響などの技術向上と他校との交流を目的に日頃の活動の成果を発表する合同公演です。

1月18日(土)
10:15～開場・受付
10:30～京都府立鳥羽高等学校
11:30～京都市立西京高等学校
12:30～京都府立向陽高等学校
14:00～京都府立洛西高等学校
15:00～同志社高等学校
16:00～京都府立桂高等学校

入場料：無料
会 場：東山青少年活動センター
主 催：京都府高等学校演劇連盟
公式ブログ <http://blog.goo.ne.jp/engekids>



② 東山コトハジメ「粘土でアニメをつくろう！」

何か新しいことに挑戦してみたい人、いつもと違う友だちと出会いたい人、クレイアニメに興味がある人、一緒に楽しい作品をつくってみませんか？

日 時：2月8日・22日・3月1日・15日(土曜日/4回) 13:00～15:00
対 象：京都市に在住もしくは、在学・在勤されている13歳～18歳の中高生年代の方。

定 員：10名 参加費：無料

申 込：要予約

場 所：東山青少年活動センター

☆今までの東山コトハジメの動画を
チェックしてみよう！

動画配信サイト Youtube【キーワード】東山コトハジメ



③ 東山アートスペース春イベント シャボン玉であそぼう

ぽかぽか、あたたかな、太陽のひかりの中もうすぐ
来る、春の風うけて
大きいの、小さいの、一度にたくさん!
さあ、どんなシャボン玉ができるかな?
みんなのシャボン玉で、梅小路公園をいっぱいに
しよう

日 時:3月9日(日) 13:00~16:00

参加費:500円

対 象:市民の方ならどなたでも

定 員:30名

ナビゲーター:一柳 綾乃(画家)

場 所:梅小路公園 芝生広場

申込み:2月9日から先着順



④ 「東山ロビーギャラリー」出展者募集

東山青少年活動センターの
ロビーを利用して、最長
1ヶ月の展示ができる場所
と備品を利用していただける
ギャラリーを実施してい
ます。絵画・陶芸・写真・詩
など、さまざまな形で自分
を表現できる空間としてご
利用ください。

使用料:無料

対 象:京都市に在住もしくは、在学、在勤されて
いる13歳から30歳までの方

利用期間:平成26年3月31日まで(2週間程度)

申込み:担当者と面談のうえ、申請書を提出

※詳細・お申し込みについてはお問い合わせ下さい。



⑤ ココロからダンスWS#9 修了公演

昨年12月から始めた、創作ダンスワークショップの
修了公演です。ひとつのテーマに沿って集まつたみ
んなでしかできない作品を創り上げます。ぜひ、ご来
場ください。

日 時:3月21日(金・祝) 13:00

22日(土) 19:00

23日(日) 13:00

*開場は開演の30分前です。

入場料:前売700円(日時指定でのご予約)

当日1,000円

会 場:東山青少年活動センター 創造活動室

☆チケット取り扱い・予約

東山青少年活動センターにて

直接来館か電話(075-541-0619)

E-mail(higashiyama@ys-kyoto.org)へ

お名前・来場日・人数を明記の上、ご予約ください。

東山青少年活動センター

ヒガシヤマンが

facebook



はじめました。

ヒガシガシ編集スタッフ募集!

年4回、フリーペーパー「ヒガシガシ」の発行に向
け、紙面の構成、取材、編集、印刷、製本作業を行なう
スタッフを募集しています。それぞれが得意分野を
活かしながら、出会いや発見を大切に活動していま
す。ぜひ一緒に活動しましょう!

対象:京都市に在住もしくは在学・在勤されている
16歳から30歳までの方

東山再発見

特集

毎月第4土曜日に三条寺町にある京都三条ラジオカフェから、東山の魅力を地域の方と伝えるラジオ番組「ツキイチ、東山」。そのラジオ番組の企画・制作担当のひとり、井上佐和子さんから東山の魅力を音で伝える面白さと難しさを語っていただきました。



東山いきいき市民活動センター職員
井上 佐和子さん

●—まず、プロフィールを教えてください。

東山いきいき市民活動センター（以下：センター）の井上佐和子と言います。現在、センターの施設管理業務や市民のみなさんの活動の活性化につながるような企画、例えばラジオ番組や映画の上映とからめたトークやワークショップなどの立案、制作、運営をしています。

●—「ツキイチ、東山」を始めたきっかけは？

メディアを使って、地域の人たちやセンターを利用されているみなさまと一緒に何か発信できないかと考えたことがきっかけですね。その中で、ラジオ番組を作ったら面白いのではないかと思い、ラジオカフェさんのご協力のもと、制作しています。

●—番組は誰とつくっているのですか？

地域のみなさんのほか、センターを利用する方々にもナレーションをしていただいたり、音楽活動をされているグループが提供してくださった音楽をエンディングに使わせてもらったりしています。窓口で声をかけてみると、みなさんに面白いねと言ってもらったりするので、徐々に広がりつつあります。他にも、センターにある三条学童保育所の子どもたちが元気な声でコーナー名の「あの音、いい音」と言ってくれたりと、様々な年代の方に関わっていただいている。

●—具体的な活動内容を教えてください。

この番組はいくつかのコーナーで構成されています。例えば「あの音、いい音」というコーナーですと、スタッフとボランティアの方たちと一緒に取材先を決め、実際にそこの音を録音しに行きます。第1回目は、センターのすぐ近くにある大将軍神社のお祭りの様子を想像できるような構成で作りました。どのコーナーも同じよう

な流れで制作し、最後は各コーナーをつなぐ作業を行い、15分番組として完成させる流れになります。

●—ラジオはテレビに比べ、映像が無い分伝えることが難しいと思いますが、どんな難しさを感じますか？

ラジオ番組を制作したことがなかったので、いろんなラジオを聴いて、スタッフ内で結構検討しましたね。どんなコーナーがいいかとか。ナレーションの文章も聴く人にこちらの意図がしっかりと伝わるのか試行錯誤しながらで、考えるのは大変でした。間違ったことを伝えてはいけないし、まずは調べて調べてといった感じで。なので、最初の頃はラジオカフェさんにアドバイスをいただいてやっていました。今でも毎回いろいろあります（笑）

●—取材先を決める際のポイントは？

スタッフとボランティアさんが取材したいところと一緒に決めています。「あの音、いい音」では、東山のあまり知られていない行事や穴場スポットなどの魅力を伝えていきたいと思っています。また、「のれんに吹く風」というコーナーでは、東山区で伝統文化・工芸の技を継承している人達を取材したもの放送しています。それぞれのコーナーを聴いて、行きたいなって思ってくださったらしいなと思います。

●—こだわりはなんですか？

ラジオを通して、新たな繋がりを作っていくんですね。番組に関わってくださったみなさん、例えば、取材先とボランティアさんや私たちは、ラジオを介して、初めて繋がることができます。他にもセンターに作ったスタジオを開放し、使っていただいたら、そういう交流をしていくことで、他の利用者の方と、繋がりを広げていけたらと思います。

また、録音の方法も、ラジオカフェさんのスタジオで録音をするやり方もあるんですが、そのスポットの生の情景を伝えたいので、実際に取材に行って、音を録って、編集するという方法にこだわりを持ってやっています。

それから、行事やインタビューの声だけではなく、近くの川の音や保育所の子どもたちの声、センターを利用し

た団体さんが帰る時のがやがやわいわいした声などを取り入れ、実際にセンターに来たような気分になっていただけるようにしています。音から情景を感じ、頭の中に絵が思い浮かべられるような番組にしたいです。

●—今まで一番反応が良かったコーナーは？

「あの音、いい音」の第2回目で、NPO法人京都・雨水の会という団体さんが主催した「雨を求めて古都を歩く」というイベントを取り上げました。東山区にある雨にまつわる史跡をナレーションとともに紹介する内容だったのですが、「一緒にツアーをしているような感覚になって楽しめた」と声をいただきました。

●—井上さんが面白かったと思う企画はありますか？

お茶屋の女将さんが舞妓さんや芸妓さんたちの花街の話を聞かせてくださったのは面白かったです。その他にもかまほこやさんとか、麁(こうじ)屋さんの伝統の話など、今まで全然知らなかったことを聞かせていただけたことが面白かったです。

●—取材の時に特に気をつけていることは？

取材を受けられる方が、あまりガチガチにならないようにゆったりモードで、話を聞かせていただいています。取材の始めは、お互い緊張していますが、ほぐれてきてから伝えたいことが出てきたりするので、取材時間が長くなることもあります。こだわりや伝えたい部分を引き出せるように、聞いていきます。



●—活動をしていて、面白いことやつらいことはありますか？

京都の路面電車を紹介したときのことですが、（ある団体さんにいただいた音源を聞くと、本当に電車の音だけだったんです。）昔の路面電車について調べてみると、電車の前で、子どもが「電車がきまっせー、あぶのおっせー」と言って走っていたという話があって、それを再現しようと思いました。そこで、センターに来ている子どもたちに参加してもらつたんですが、最初はすごくふざけて言うんですよね。でも、何回も何回も録っている内に、だんだん演技調になってきて、最後にはまるでその当時に収録したかのような音声になっていて。そのときは楽しみながら制作することができました。

つらいと思ったことは、思っていたより編集に時間がかかることがあったり、取材先の都合で取材が遅くなつて、締め切りに近づいていたこともあって、焦ることはあります。また、すごくいいことを話されていて、ここもここもと伝えたいことがあるのに、決められた時間内に収めないので、バサッとするしかないこともあります。できればラジオカフェの番組だけじゃなくて、放送できなかつた音をセンターのウェブページに掲載するなど、していきたいと思っています。

●—「ツキイチ、東山」をやっていて良かったと思うことはなんですか？



この番組を通して、新たな繋がりができたことが、すごく良かったと思います。今はテレビを見る人が多く、ラジオはマイナーだと思いつつ、ラジオは音のみでいろいろなことを想像できるという魅力に気づけたことも良かったです。

●—今後の展望を教えてください。

今はスタッフと共に番組を制作してくれるボランティアさんを募集しています。今まで、こちらから声をかけて、センターを利用している劇団さん、アート系の方々にナレーションを読んでもらっていますが、今後はさらにラジオ作りに興味がある方にレポーターとして関わっていただけたらなと思います。

取材をするレポーター、ナレーター、企画と一緒に考える人、音声を編集したいという希望があれば、応えていきたいですし、もっとたくさん的人に発信していきたいです。

●—最後に「ツキイチ、東山」の魅力とは？

番組を聴いて、本当にお話を聞いている、その場にいる情景を感じ取っていただけるところが魅力かな、と思います。また、東山や、番組に興味をもつ方たちと繋がって広がっていくけるメディアになることが、更なる魅力の向上につながっていくものだと思いますね。なので、ぜひ一度聴いてみてください。

●—ありがとうございました。

地域の魅力をみんなで発信！見える、感じる、東山。

ツキイチ、東山

毎月第4土曜日 16:00 ~ 16:15

京都三条ラジオカフェ <http://radiocafe.jp/>

~過去の放送も PODCAST から聴くことができます！！~
<http://radiocafe.jp/20130605/>



利用者の方にナレーションを読んでもらっている様子

ヒガシヤマ

Q & A



A. かしこなべ

おいしいから

——かしこ鍋…初めて聞きました！どんな鍋なんでしょう。

A. 水炊きなべ

ふつうのが食べたい！！

？ (11才 女性)

——普通のお鍋には七味とうがらしがよく合う気がします。

A. キムチ鍋

とにかくあったまる（燃える）食欲が増進されるから。

辛いのが好きだから。

EDMM (22才 女性)

——辛いもの好きにはたまりませんよね！

A. なんちゃってモツ鍋

モツではなく、とり肉で。ニンニクたっぷり、ニラたっぷりのおいしい鍋を今晚つくろうと思って。

なべおんな (28才 女性)

——ニンニクとニラ、たっぷり入れたら食欲増しそうですね！

A. とり鍋

(ミニチ団子を作る) ニンニク、生姜、ネギ、塩、等ねり丸める。白菜、しいたけ、マロニー等入れる。

味付けはポン酢でいただくか（水炊）スープだけをコップに取り、生姜のすったものと塩を入れて飲むと、体があたたまり、くせになるお味です。

フナチャン (70才 女性)

——生姜と塩、試してみたことはありませんがすごく合いそうです！

Q この季節に食べたい!!オススメ鍋はなんですか？

お鍋のおいしい季節になりました。日本気象協会では体感温度と湿度などの気象データを使った鍋ものの指数なんかを出してるそう。そうしたものを参考に鍋を食べるのもいいかもしれませんね♪ そこで、今回のQ&Aでは、鍋について聞いてみたいと思います。



A. 力二なべ

力二が好きだから。 龍友くん (15才 女性)

——力二を食べると贅沢した気持ちになります。

A. つみれ鍋

理由なんてない！！！※つみれ好きなんです。

千年に一度の天才 (15才 女性)

——私もつみれ好きです。

A. カレー

おいしいから。あつあつくなるから。

M (14才 女性)

——最後にうどんを入れたら美味しそうですね。

work shop

●概要 東山コトハジメ ～2クール目～

中高生を対象としたクレイアニメ（粘土などでつくったマスコットや立体を動かしてつくるアニメーション）のワークショップ。

クレイアニメの制作を通して、グループでの同世代との関わりの中で、安心して過ごせる仲間や心の「居場所」をつくる機会の提供を目的としています。



【開催日時】平成 25 年 11 月 30 日～12 月 28 日
(毎週土曜日 / 全 4 回) 13:00～15:00

【参加者】中学生 3 名

今回のテーマは“宇宙人”。最初は参加者の方に宇宙人で連想することを挙げてもらい、そこから、ストーリーやキャラクターを考えました。

初対面同士ということもあり、最初は緊張した様子でしたが、話し合いを進める中で少しずつ解れてきたよう。粘土でキャラクターをつくったり、撮影をする中で、互いのアイディアや作品を褒めながら進め、みんなが 1 つになって、作品を完成することができました。



参加者の感想

- アニメをつくっていく作業が面白かった。
- 粘土で宇宙船や宇宙人のキャラクターをつくるのが、楽しかった。
- みんなで相談しながらつくるのは、難しかった。でも、まとまるとなしくてくれた。

完成した作品はYoutubelにアップしていますので、ぜひ見てみてください!!

おも検、

京都はパンの消費量が全国一！
ロビーでアンケートを取り、オススメされたパン屋さんからボランティアが気になったお店に行ってきました！

ボランティアが食べた以外に
ゲベッケンではクリームパン、
ORENOPANではカレーパンが
オススメだそうです！
ぜひ、みなさんも行ってみて
ください！

(ヒガシガシ調べ)

ヒガシガシボランティアが、ちょっと気になる噂を検証する、おもしろ検証コーナーです。
テーマ：東山限定！あなたのイチオシパン屋さんは？



京阪祇園四条駅の近くにあるパン屋さん、「ORENOPAN」に行ってきました。

ブリオッシュチェリーというパンをいただきました！
チェリーの酸味とカスタードの甘さが、
もちもちのパンとマッチして美味しかったです！



今熊野商店街にあるパン屋さん「ゲベッケン泉涌寺店」
に行ってきました。「京・出し巻き食堂」というパンを
いただきました。パンの中にだしたっぷりの出し巻き
が入っています。紅しょうがとマヨネーズも入ってい
て美味しかったです。



●検証・編集：ヒガシガシボランティア

季節のイラスト テーマ：「2月といえば節分！ 節分といえば鬼退治！！ では、あなたが退治したいものとは？」

節分…豆を数え年分食べるということで毎年たいして味のない豆をほおばる…軽い試練ですよね。

みなさん、実はこの行為…自分の中の鬼退治をしているってことに気づいてましたか？

今回のイラストでは二度寝の誘惑や、PM 2.5 など面白いものが描きましたね。

払いたくても払えない…食欲なんて一生無理ですよね(笑)



このコーナーでは、テーマにそったイラストを募集し、いくつかの作品を紹介しています。

●編集：夏原理恵



STAGE SUPPORT PLAN

ステージサポートプラン

1月～3月

東山青少年活動センターが自主公演の支援をします。初心者から経験者まで、いろんな人たちに東山にある創造活動室を利用してほしい。だから次のようなグループの公演を応援しています。

- ① First Trial (活動経験の浅い人たち)
- ② チャレンジ! (何か新しいことに挑戦しようという人たち)
- ③ 東山のおススメ! (京都でがんばって活動している人たち)

★詳しいことのお問い合わせは→東山青少年活動センターへ

<http://ys-kyoto.org/higashiyama>

HPでも
ご覧頂けます。

応募
方法

*応募には まず、担当者にご相談ください。

*企画書の提出(公演希望日、公演内容やセンターで公演をしてみたい理由を書いてください)

..... 公演しようとする月の4ヶ月前の20日まで

*個別面談 応募された全てのグループと面談(応募締切日より10日以内)

*決定 東山青少年活動センタースタッフとボランティアで選考の上、支援公演を行っていただけるグループを決定。(公演しようとする月の4ヶ月前の月の末日)



創活番ボランティア募集中!

「創活番」とはステージサポートプランのお手伝いをするボランティアチームです。この度、新メンバーを募集しています。

何か新しいことを始めてみたいと思っている方におすすめです。

照明や音響、舞台の知識も身につきます。詳しくはお問い合わせください!



■ 東山顔見世高校

「似非勘進帳」

歌舞伎の名作「勘進帳」を誰が見てもわかる、ばかばかしさでお送り致します。
産子這う子に至るまで、こちらの「関所」に遊びにいらしてくださいませ~。

※ この演劇公演の開場は開演時間の30分前です。

3/1(土)18:00

2(日)13:30

前売・当日 1,000円

小中高生・東山区民 500円

※証明できるものを持参ください。

○お問合せ...

090-1960-3635(三谷)

M_Produce

M_Produce

M_Produce

M_Produce

M_Produce



M_Produce

M_Produce

■ M_Produce

「tryoutリーディング公演」

京都で活動する若手演出家3名によるリーディング公演。戯曲は1990年代の京都を代表する劇作家 鈴江俊郎・土田英生・花田明子の佳作をセレクト。10年以上の歳月を感じさせない中編作品を、2本づつ組み合わせて上演。

【Facebook】facebook.com/mproduce

3/6(木)18:30

7(金)18:30

8(土)15:00/18:30

9(日)11:00/14:00

前売2,500円/当日2,800円

高校生以下1,200円(要証明)

リピート割り1,200円(要半券)

○お問い合わせ…

mproduce.info@gmail.com

※この演劇公演の開場は開演時間の15分前です。

東山青少年活動センターでボランティア活動してみませんか？

● アートサポートボランティア

知的な障がいのある青少年のアトリエ活動をサポート。余暇活動の充実や社会参加を目指します。

活動日：日曜日（月1～3回）10:00～18:00

活動事業：東山アートスペース、アトリエC

対象：16歳から30歳までの方

● 表現サポートボランティア

知的な障がいのある青少年のからだを使ったコミュニケーションや表現活動をサポート。余暇活動の充実を目指します。

活動日：土曜日（月2回）13:00～17:00

活動事業：表現活動へのお誘い～からだではなそう～

対象：16歳から30歳までの方

● 創活番

創造活動室の運営を行います。照明器具や音響・調光卓など舞台設備の使い方、安全管理やメンテナンスの方法を習得し、公演をするグループのサポートを行います。

活動日：創造活動室を使った公演のある1週間。（随時、ご案内します。）

活動事業：ステージサポートプラン、学校との連携事業

対象：18歳から30歳までの方

何かしたいけど、どんな活動がいいのかわからない・迷っているという方もお気軽にお問い合わせください。



Higashiyama Youth

東山センターを利用している青少年にインタビュー

今回は立命館大学ダンスサークル「舞style」代表の山田一輝さんにお話を伺いました。ダンスの楽しさや魅力について語っていただきました。

「舞style」は10年前に立命館大学で、ダンス練習だけではなく、仲間同士でコミュニケーションが取れる場所として発足しました。現在、180名の学生の方が活動しています。

——グループ全体で何名いるのですか？

山田 180人です。去年からすごく増えて、1・2回生が多いです。

——グループ名の意味を教えてください。

山田 「舞style」のマイが自分のmyと舞蹈の舞の意味があります。それをかけて「舞style」です。

——山田さんがグループに入られたきっかけは？

山田 僕は高校からダンスをやっているんですが、3つ上の先輩が元々知り合いで、ダンスをされていたんです。その先輩がちょうど立命館大学に進学されて、舞Styleに入ったと聞きました。その時に入ろうと決めました。

——グループは、ダンス経験者の方が多いんですか？

山田 最近はそんなことないですよ、7割ぐらい初心者です。残りも、スクール通ってたってんじゃなくて、独学でやった方も多いです。

——代表になられたきっかけは？

山田 基本的には運営している幹部の代が次の後輩の幹部を指名して、という形です。決まった時は、「いやもう、なんで!？」みたいな。1、2回生の時は、ぶっちゃけ、ジャンルで活動したり、練習できたらいいやーって思っていて、サークルには参加してなかつたんですね。でも、今までサークルに参加してなかつたからこそ、外から色々と見られるんじゃないかと言つてもらって、指名されました。

大変でしたが、サークル活動いいなと思えた部分もあったんで、1年間やってよかったです。

——これまでの活動を教えてください。

山田 3代目の方が、BIG BANGという大学生のコンテストの大会で優勝されたんです。あと、過去に「クラシックグループ」というロックダンスのチームが、JAPAN DANCE DELIGHTという大きな大会に出場されました。最近なら、今年の3月に「バッショーネ」というロックダンスのグループが、BUZZ STYLE FINALという大学生の大会で優勝され、OSAKA DANCE DELIGHTという大会で特別賞もとられたりしています。サークル全体で活動する機会は、学園祭と、シンボルという京都の大学が集まるイベントくらいなので、個別のチームで動いていることが多いです。

——180名の方が一緒に踊られる事はあるんですか？

山田 学園祭では、ほぼ180名で踊ります。ただ、在籍してもあまり活動していない方もいるんで、今年の学園祭は140名で、各ジャンルごとに踊りました。ブレイクやった後にヒップホップやって…という感じで、ジャンルがどんどん変わっていくんです。そして最後に全員踊る。ただ、140名はステージに乗らないから、ステージに半分、ステージの前の方に半分という形になりました。

——舞styleにジャンルはいくつあるんですか？

山田 今8つです。ニュースクールヒップホップとミドルスクールヒップホップ。ロックとポップというロボットみたいな動きのダンスに、ブレイクダンス。女の子が多いワックっていう腕を大きく使ったダンスやハウスという足を使ったダンス。あとジャズですね。中でも、ジャズとロックが多いです。



——練習とはどんな時間ですか？

山田 喜怒哀楽。ブレイクダンスってグルグル回るイメージあると思うんですけど、技を1個習得するのに、簡単だったら、すぐにできますが、難しかったらすごく時間がかかったりします。なので、できたら嬉しいし、できなかったら悩む。教えてた後輩ができたら嬉しいし、怪我したら、ああ…って思います。練習しながら感情の変化がありますね。あと、友達と教え合ったり、人との繋がりや自分との戦いでもありますね。

——何をしているときが一番楽しいですか？

山田 やっぱりステージに立てる時。イベントに出てる時って、大体バトルとショーというのがあるんです。バトルは音を即興で流されて、それに合わせて踊る、というものなんですけど、僕はそっちより、ショーの方が好きです。ショーは音を先に用意して、振りを作つておいて、それを踊るんですが、ショーをやる時が一番楽しいです。ただ、そのショー練習はかなりしんどくて。聴きすぎてその曲が嫌いになりますが(笑)

——活動での一番の思い出は？

山田 学園祭です。今年は最後に泣いてバカにされたぐらいです(笑)

——ダンスの魅力はなんですか？

山田 ダンスは、自己表現ですね。音楽を聞いてる時に体が動くだけでもダンスだと思うんで。「これが私の自己表現の範囲です」みたいな。動かしてるだけでも楽しいし。楽しんだもん勝ちやと思います。

サークルで行うイベントに留まっている方とか多くって、もっと外でやっているイベントとかに出て行ってほしいなと思います。ほんとは、忙しい中でも自分の背中

で見せられたらよかったんですけど。

せっかくダンスをやっているので、大学生という枠には囚われるとは思うんですけど、いちダンサーの自己表現として、どんどん外に出ていいってもらいたいなと思います。

——今後の展望を教えてください。

山田 さっき3代目の方がBIG BANGっていうイベントで優勝したと話しましたが、そこから僕らBIG BANGでの優勝は一度もないんです。「パッショーネ」という今年、BUZZ STYLE FINALで優勝したグループもBIG BANGでは…2位やったかな。個人ではあと1年しか勝負できないので、とりにいけたらと思います。サークルとしては、今年でサークルが10周年なので、12月の末のイベントを区切りに、11年目の新しい舞styleとして伝統も引き継ぎながらも、今までと違うサークルの形態であったり、もっと外に出ていくようなダンサーを育てるサークルになってほしいです。

——ありがとうございました。



取材/編集:西尾友里(京都女子大学2回生)

